【資料１】

令和８年度刈谷市スマートシティ推進協議会の進め方について

KARIYA SMART CITY

令和８年７月３日（金）

今年度のスマートシティ推進協議会のイメージ

KARIYA SMART CITY

- ✓ 課題の設定については、従来からの行政課題に加え、新たに市民意識調査から見る「市民課題」を提示します。
- ✓ 行政課題、市民課題に対するアイデアのみならず、会員企業の自由なアイデアも募集し、重点プロジェクトを設定したうえで、実装に向けた検討を行う専門部会等の立ち上げを目指します。

実施時期

7月上旬

行政課題

アイデア募集型

HP掲載済３ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ
＋
今年度追加３ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ

➤資料２参照

市民課題（市民意識調査）

市民意識調査（自由回答）

➤次ページ参照

★今回の書面会議

7～8月

会員企業からのアイデア募集
（必要に応じてヒアリングを実施）

企業課題・アイデア

- 行政課題、市民課題に対するアイデア
- 会員企業が認識している地域課題に対するアイデア
- 上記に限らず、会員企業のリソースを用いたアイデア

8～9月

プロジェクト設定

☑会員企業のヒアリングを基に、今年度の重点プロジェクトを設定します。

☑プロジェクトに関係する担当課や、会員企業等との連携可能性を検討します。

（例）
・エネルギーに関する●●プロジェクト
・モビリティに関する▲▲プロジェクト　など

9月以降

専門部会を設けるなど、実装に向けた検討を目指します。

刈谷市の予算活用や国・県等の補助金活用を模索します

会員交流会（※開催時期や内容等の詳細は現在検討中です）
今年度の重点プロジェクト設定に係る報告や実証実験等の現場視察などの企画を検討中です。皆様のご参加をお待ちしています。

内容に応じて、スタートアップ企業等との連携も検討します。

市民意識調査（自由回答）からの市民課題の抽出

KARIYA SMART CITY

✓ 市民意識調査の自由回答を、生成AIを活用して分類・集計をし、市民課題を抽出しました。

市民意識調査の概要

調査名	市民生活の現状についてのアンケート
対象	刈谷市内在住の18歳以上の市民から無作為に抽出した5,000人
調査期間	令和６年４月18日から５月17日まで
回答総数	2,966票（回答率59.3%）
分析対象の設問	「刈谷市のまちづくりについて自由な意見をお聞かせください」（自由回答）

刈谷市スマートシティ構想のテーマ

・刈谷市スマートシティ構想に示された、下記の計12テーマに基づき、市民課題を分類しています。

「子どもの未来」と「将来への備え」

刈谷市スマートシティ構想より（P5参照）

道路・交通	公園緑地	子育て
生活安全	スポーツ	防災
福祉	教育	健康づくり
住環境	環境	その他・まちづくり

市民課題抽出にあたり追加した分類

SCでの取組検討につながり得る具体テーマ（抜粋）

移動手段の確保、バスの増便等 道路・交通 — 142件
- ・免許返納後・高齢者等の移動手段の確保
- ・利用したい時間に便がない
- ・停留所が遠い、目的地に行きにくい

スーパー・日常の買物環境 その他・まちづくり — 54件
- ・身近な店舗が少なく、車がないと買物が難しい

駅周辺・商店街・飲食店・回遊の魅力 その他・まちづくり — 36件
- ・市内で立ち寄る場所や日中過ごせる場所が少ない

ごみの捨て方・分別・収集方法 住環境 — 29件
- ・分別や資源回収の方法が分かりにくい
- ・衛生面が不満

通学路・子どもの交通安全 生活安全 — 27件
- ・歩道・交差点・車両通行等への不安

道路・歩道の草刈り／街路樹剪定 道路・交通 — 26件
- ・草木や落葉が歩行・自転車・視認性・排水に影響

通勤時間帯・幹線道路の渋滞 道路・交通 — 24件
- ・通勤等による慢性的な道路渋滞が発生

自転車走行環境・自転車マナー 道路・交通 — 24件
- ・自転車が安全に走れる空間やルール周知が不足

夜道の暗さ・街灯／外灯不足 生活安全 — 20件
- ・夜間・薄暮時に暗く、歩行や帰宅時に不安

（参考）市民意識調査（自由回答）からの市民課題の抽出

KARIYA SMART CITY

市民意識調査(自由回答)の分類(1／2)

✓ 生成AIによる市民意識調査（自由回答）の具体テーマ別集計は下記の通りとなっています。

SC構想のテーマ	具体テーマ	該当意見数	市民課題の表現	展開イメージ
道路・交通	移動手段の確保、バスの増便等	142	便数や時間帯が生活目的に合わず、利用したくても利用できない。	運行実績・移動需要分析、ダイヤ再編、運行情報の可視化
その他・まちづくり	スーパー・日常の買物環境	54	身近な店舗不足により、特に車を使えない場合に買物が困難。	買物アクセス分析、移動販売・配送・交通連携、商業誘導
道路・交通	バス路線・停留所・乗継・目的地アクセス	44	停留所が遠い、買物・通院・駅接続に使いにくい、乗継が不便。	OD・目的地分析、停留所／乗継設計、経路検索・案内改善
その他・まちづくり	観光・イベント・地域の魅力発信	44	市内で誇れる場・イベント・文化的魅力の充実を望む。	デジタル観光・回遊、イベント情報、来訪・滞在分析
その他・まちづくり	税金・財政・事業優先順位への意見	38	施策の優先順位や税金の使途への納得感を求める意見。	事業効果の可視化、市民対話・情報公開を補助
公園緑地	公園の遊具・トイレ・維持管理	37	身近な公園の設備、清潔さ、使いやすさに差がある。	利用状況把握、点検DX、設備更新優先度の可視化
その他・まちづくり	駅周辺・商店街・飲食店・回遊の魅力	36	駅周辺等に日中立ち寄れる場所や街歩きの魅力が不足。	人流分析、回遊促進、情報発信・クーポン、空間活用
道路・交通	歩道の段差・側溝・バリアフリー	31	ベビーカー・自転車・高齢者等が移動しにくく、転倒等の不安がある。	道路点検DX、危険箇所マップ、住民通報、優先修繕判断
住環境	ごみの捨て方・分別・収集方法	29	分別方法、資源ごみの回収、衛生面や収集方法への不便。	分別案内、収集情報配信、資源回収の利用改善
生活安全	通学路・子どもの交通安全	27	通学時の歩道・交差点・車両通行に不安がある。	通学路危険箇所分析、見守り、交通データを用いた対策
道路・交通	道路・歩道の草刈り／街路樹剪定	26	草木や落葉により、歩行・自転車・視認性・排水に影響。	維持管理通報、画像解析、作業優先度・進捗管理
道路・交通	信号・交差点・道路ネットワーク改善	25	交差点・信号運用や道路構造に起因する混雑・危険がある。	交通シミュレーション、交差点データ分析、改善効果可視化
福祉・健康	子育ての経済的支援・医療費・給食費	25	経済的支援や制度充実を望む意見が多い。	制度施策中心。SCでは情報提供・利用支援等を補完的に検討
道路・交通	通勤時間帯・幹線道路の渋滞	24	通勤時の慢性的混雑と、産業交通による生活上の負担。	人流・交通流分析、企業通勤施策、交通需要マネジメント
道路・交通	自転車走行環境・自転車マナー	24	自転車が安全に走れる空間やルール周知が不足。	走行環境可視化、自転車動線分析、安全啓発・ナビ
福祉・健康	健康づくり・運動機会	24	身近に健康づくりや運動を継続できる機会・場を求める。	健康行動促進、歩行・公園利用・参加支援
教育	図書館・学習／文化施設へのアクセス	21	予約本受取や学習場所など、施設へのアクセスと利用環境に不便。	予約受取拠点・通知、施設利用情報、交通・拠点連携
住環境	夜道の暗さ・街灯／外灯不足	20	夜間・薄暮時に暗く、歩行・自転車・帰宅時の不安がある。	照度・人流・危険箇所の可視化、スマート照明、優先整備
住環境	地域間格差・北部等の生活利便性	19	中心部と周辺部・北部等で、交通・店舗・整備への差を感じる。	地域別データ可視化、サービス配置・移動支援検討
道路・交通	生活道路の抜け道・速度・危険運転	17	住宅地への流入や速度超過等により、歩行者の安全が脅かされる。	通過交通計測、危険挙動把握、速度抑制対策検討
住環境	防犯カメラ・見守り・パトロール	17	不審者、防犯、子ども等の見守りへの不安。	見守り・防犯設備、運用ルール、市民理解を伴う導入検討
道路・交通	小型バス・オンデマンド・タクシー等の導入	16	大型バスより小回りの利く移動や、戸口近くの支援が求められている。	小型車両・オンデマンド・定額／乗合タクシーの検証
地域・行政	相談・通報・対応状況の可視化	12	困りごとを伝える窓口や、依頼後の状況が分かりにくい。	道路・街灯・ごみ等の通報受付と対応状況可視化
教育	子ども・若者の遊び場／居場所	12	放課後や雨天時に過ごせる安全な場が不足。	居場所情報、予約・利用支援、見守りを含む場の運用
福祉	障害児者の相談・移動・社会参加支援	12	相談のつながりにくさ、移動・施設利用等の障壁がある。	アクセシビリティ情報、相談連携、移動支援
住環境	自治会・地域活動の負担と参加促進	12	役員・配布・清掃等の負担が増し、参加の継続が難しい。	地域活動DX、情報共有、作業マッチング、参加の多様化
防災	避難所環境・備蓄・避難体制	11	避難所の環境、備蓄、避難時の生活継続に不安がある。	避難所・備蓄情報管理、混雑可視化、非常時電源・衛生支援
防災	河川氾濫・浸水・豪雨対策	11	河川周辺や豪雨時の浸水・増水リスクへの不安。	水位・雨量センサー、浸水予測、避難情報連携

（参考）市民意識調査（自由回答）からの市民課題の抽出

KARIYA SMART CITY

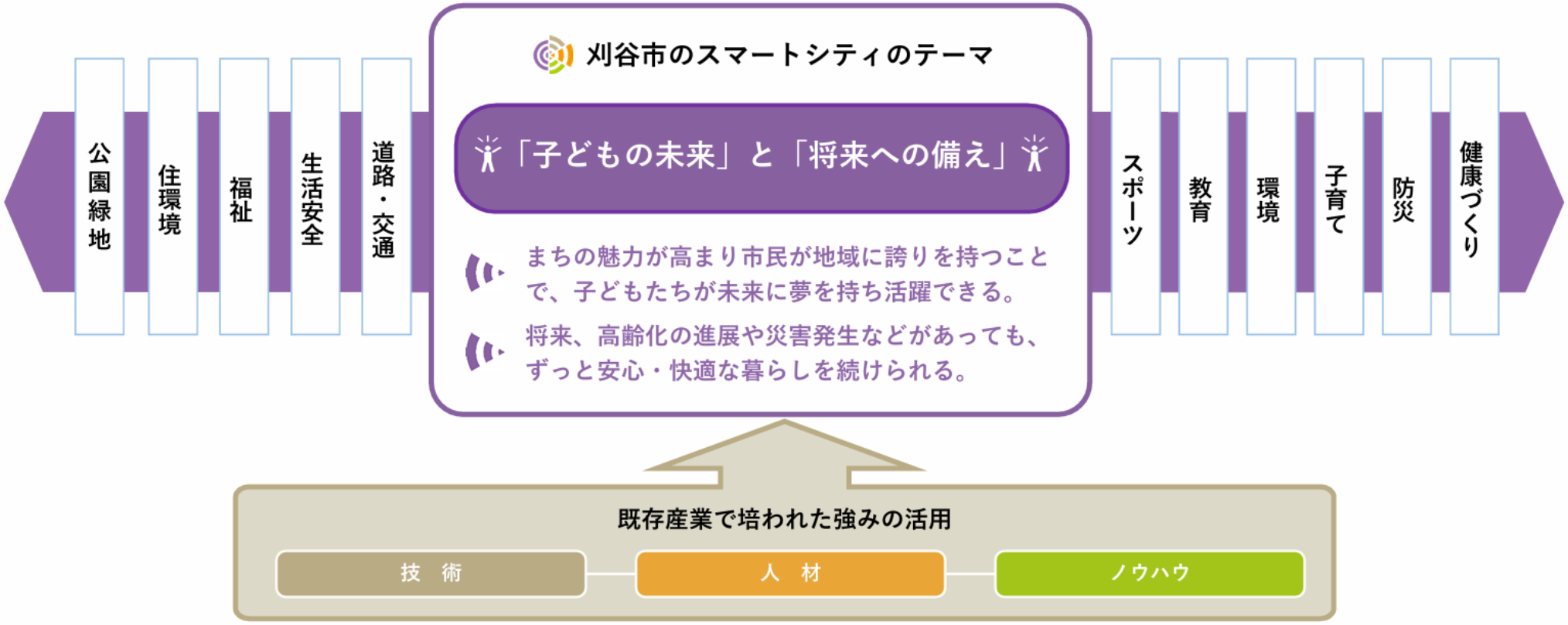
市民意識調査(自由回答)の分類(2／2)

✓ 生成AIによる市民意識調査（自由回答）の具体テーマ別集計は下記の通りとなっています。

SC構想のテーマ	具体テーマ	該当意見数	市民課題の表現	展開イメージ
教育	保育・児童クラブ・預かり支援	11	預かり先、利用条件、昼食等の運用負担がある。	予約・情報連携、送迎・見守り、運用DX
その他・まちづくり	行政情報発信・市民への説明	11	事業や制度、計画の情報が届かず、分かりにくい。	対象別情報配信、可視化、対話・意見収集の仕組み
住環境	動物・ペットによる生活環境問題	10	ふん害、野良猫、公園利用時のマナー等に困りごとがある。	情報提供、通報・管理、公共空間の利用ルール改善
福祉	高齢者介護・施設・介護家族支援	10	介護施設・支援利用や家族介護の負担に不安がある。	介護情報・相談支援、見守り、家族支援サービス
住環境	ごみ集積所・カラス被害対策	9	集積所が荒らされ、ごみ散乱や衛生面の問題が生じている。	防鳥設備、集積所改善、被害把握・通報、管理モデル検証
福祉	医療機関・受診アクセス	9	必要な診療科や小児科等への受診、通院に不便がある。	医療アクセス情報、オンライン診療支援、移動連携
住環境	空き家・住宅費・住まいの確保	9	空き家活用や住宅費、若年・高齢者の住まいへの課題。	空き家情報活用、住まい・生活サービス連携
その他・まちづくり	地域クーポン・消費喚起・デジタル利用	8	地域消費施策への期待がある一方、デジタル利用の公平性が課題。	デジタル＋非デジタルの地域消費促進、利用分析
福祉・健康	高齢者の孤立・見守り・社会参加	7	独居・孤立への不安と、活動や交流の機会への期待。	見守り、外出促進、地域活動・就労マッチング
住環境	騒音・喫煙・生活環境被害	7	工場・交通・喫煙・野焼き等による生活環境への不快・不安。	発生箇所可視化、相談受付、環境モニタリング
その他・まちづくり	デジタル利用格差・行政DX	7	デジタル施策は便利な一方、使えない人への配慮が必要。	多チャネル提供、デジタル支援、アクセシブルなサービス設計
その他・まちづくり	農地活用・農業の担い手／地産地消	7	農地・担い手や地元産品の活用に期待がある。	農地マッチング、直売・地産地消、地域体験との連携
住環境	下水道・用水路の悪臭／水質・衛生	6	悪臭、虫、水質、設備劣化への生活上の困りごと。	水質・臭気・設備状態のモニタリング、通報・維持管理
環境	脱炭素・環境配慮型モビリティ／エネルギー	5	環境配慮型交通やエネルギー、防災との組合せに意見がある。	水素・EV・再エネ等の実装可能性検討
防災	災害情報・避難行動の周知	4	災害時に何をすべきか、情報が十分伝わっていない。	防災情報配信、個別避難支援、デジタル／紙の併用設計
住環境	暑熱対策・日陰・夏季の外出困難	3	猛暑により徒歩・公園利用・行事参加が難しい。	暑熱可視化、涼しいルート／クールスポット案内、休憩環境

（参考）刈谷市スマートシティ構想（スマートシティのテーマ）

05 刈谷市のスマートシティのテーマ

前述の本市の現状と特性を踏まえ、**「子どもの未来」と「将来への備え」を本市のスマートシティのテーマ**として、分野横断的に取り組む。

推進するに当たり、**自動車産業が盛んな地域で培われた確固たる技術や人材・ノウハウを活用**する。